

太陽光パネルリサイクル

エヌ・ピー・シーが新装置

太陽電池の製造装置やパネル解体装置を製造・販売するエヌ・ピー・シーはこのほど、太陽光パネルリサイクル装置の新製品を9月1日に発売すると発表した。金属を含むセルシートを分離した後にカバーガラスに残ってしまうEVA（樹脂）を取り除く装置。ガラスの純度を高めて再資源化の向上を図る。使用済み太陽光パネルの廃棄量がピークを迎える前までにガラス分離装置と合わせて200セットの国内販売を目指す。

ガラスの純度を向上

新発売する装置の名称は「EVAスクレーパー」。使用済み太陽光パネルの中間処理工程で、同社の独自技術であるホットナイフ分離法によるガラス分離装置の後工程に加わる。銅や銀などの有価金属を含むセル／EVAシートとガラスを分離した後、ガラスに残存してしまう不純物のEVAをさらに取り除く装置となる。

特別なフラッシュを使用

率的に再資源化するには、ガラスの再資源化工程で不純物となる金属などの素材の混入

を減らす必要がある。またガラスを割らずに分離して純度を高めることも求められる。同社のガラス分離装置はガラスを割らずに金属

を分離する。新しい装置と組み合わせることで水平リサイクル時のガラスの価値向上とリサイクル性の大幅な向上を実現できる。

海外のガラスメーカーはすでに、同社のガラス分離装置で分離したガラスを有価で回収し、2024年秋ごろから数百トンをリサイクルしている。国内でもガ

ラスの再資源化と価値向上のために、ガラス分離装置と今回発売する装置で純度を高めたガラスの評価に取り組み方針だ。